

令和元年度

決算

元気な渥美半島の 実現を目指して

令和元年度一般会計の歳入総額は、前年度に比べ0.4%増の313億6735万円、歳出総額は、前年度に比べ4.1%増の301億7335万円となりました。実質収支額※は、8億6709万円の黒字で、前年度に比べ4億7771万円減(35.5%減)となりました。

一方で繰入金金は斎場整備などの大規模事業を行うため大規模事業推進基金から繰り入れ、6億3677万円増(275.5%増)の8億6787万円となりました。市の借金である市債についても、斎場整備や小中学校の空調整備などのため10億7050万円増(73.4%増)の25億2960万円となりました。また令和元年10月から開始された幼

児教育・保育無償化などの影響により、使用料及び手数料が1億1568万円減(14.5%減)の6億7943万円となりました。



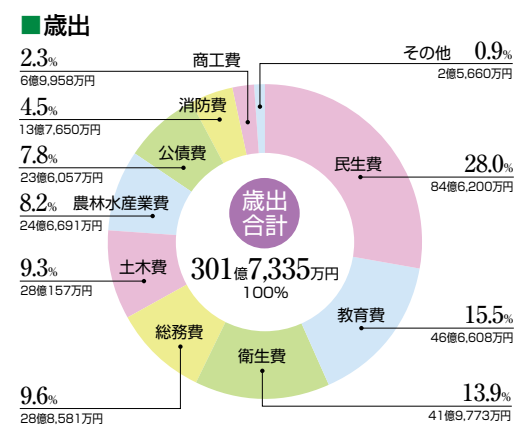
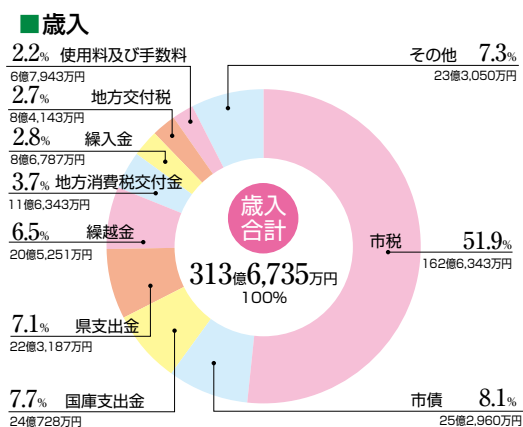
●空調整備が行われた学校

歳出 重点施策を着実に実施

長期的展望に立った行政サービスの再構築や財源の確保を図りながら、優先度の高い事業を厳選し、将来を見据

歳入 市税・普通交付税減少

市税は14億1581万円減(8.0%減)の162億6343万円となりました。主な要因は法人市民税の減によるもので、企業業績などの影響により、前年度に比べ12億4676万円減(24.8%減)となりました。地方交付税についても、普通交付税の旧赤羽根町の合併算定替※の終了および旧渥美町の合併算定替縮減などの影響により、12億1973万円減(59.2%減)の8億4143万円となりました。



一般会計の歳入歳出決算

実施した重点施策の主な事業

【住んでみたい・訪ねてみたいまちづくり】定住・移住促進奨励金／空き家活用の推進／赤羽根地区土地区画整理事業の支援／温泉の掘削／企業立地奨励金／農業経営活性化／プレミアム付き商品券の販売【住み続けたいまちづくり】田原市街地の活性化／赤羽根診療所の運営／親子交流館「すくっと」の運営／童浦こども園開設支援／小中学校空調整備／高校生バス通学支援【未来につながるづくり】新斎場の整備／PFI期間終了に伴う炭生館の取得／し尿処理施設の統合整備

※【合併算定替】合併後15年間の普通交付税額が、旧3町が存続した場合の額を下回らないように保障する制度。11年目から段階的に引き下げられる

※【実質収支額】歳入歳出差引額から翌年度への繰越事業に充てる財源を控除した額。一年間の「損益」

※【一般会計と特別会計を合わせた歳入総額(水道事業を除く)は、426億6030万円(0.5%減)、歳出総額は411億7495万円(3.0%増)となりました。

なお、一般会計と特別会計を合わせた歳入総額(水道事業を除く)は、426億6030万円(0.5%減)、歳出総額は411億7495万円(3.0%増)となりました。

また、令和元年度は、小中学校に対する空調整備、伊良湖岬小学校の整備、新斎場建設地の造成・整備などを行いました。